

町役場新庁舎整備に向けた 「意見交換会」

- 1 新庁舎整備これまでの経緯
- 2 「基本計画」からの変更点
- 3 新庁舎整備の財源
- 4 新庁舎整備のスケジュール



1 新庁舎整備これまでの経緯



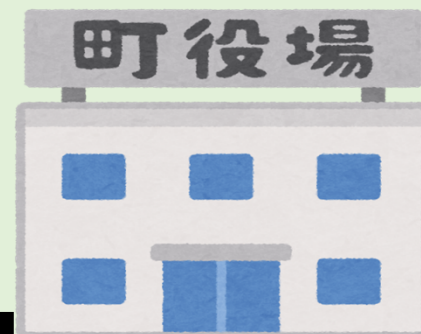
①町役場本庁舎は築53年、老朽化で耐震性不足（防災拠点）などの課題

②前町長時代に現地建替えの方向で「新庁舎整備基本計画」（R5.3）

➡ 地上4階、地下1階＋防護壁・立体駐車場

➡ 総工費44.38億円

（基金14億円で町負担30.38億円）



③町長選挙では「耐震補強検討」

④昨年9月議会で補正予算が否決
町議会は速やかな建替えを決議

⑤「基本計画」を**見直し**当初予算計上

➡ 地上4階、**地下無し、防護壁なし**

➡ 総工費**32.5億円**（基金14億円と
地方交付税活用し**町負担3.1億円**）

⑥ところが、能登半島地震、4月の法改正
などで資材・人件費が高騰

⑦市場調査などで「基本計画」の
見直しの見直しが必要と判明



➡ 地上4階、地下無し、防護壁無し

➡ 総工費43.6億円（基金14億円と
地方交付税活用し町負担18.8億円）

2 「基本計画」からの変更点

基本計画

変更後



① 総工費**44.38億円**
(ただし現在55億円)

➡ **43.6億円**

② 町負担**30.38億円**
(ただし現在41億円)

➡ **18.8億円**

(**緊防債**延長の場合)

➡ **12.8億円**

③ 構造 4階・地下・防

➡ **地下・防なし**

④ 延床面積 **5,000m²**

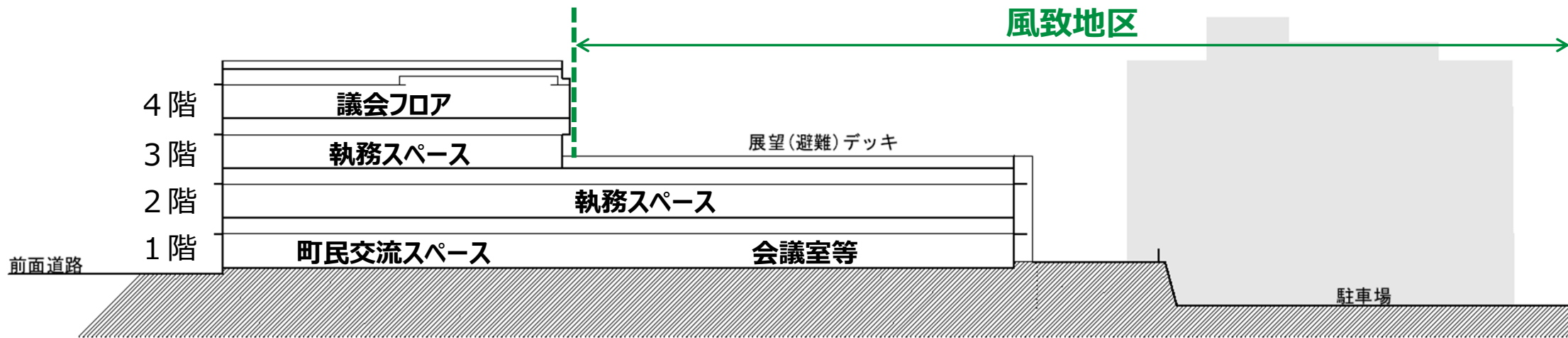
➡ **5,480m²**

基本計画の6つの基本方針

- (1) 防災の拠点となる安全安心の庁舎
- (2) 町民サービスの向上につながる庁舎
- (3) 誰もが快適で使いやすい庁舎
- (4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎
- (5) 経済的で合理的な永く使える庁舎
- (6) まちづくりの拠点となる庁舎



新庁舎断面図



町民交流スペース

エントランスロビー付近に
ギャラリーやイベントなど
様々な使い方ができる多
目的なスペースを設置

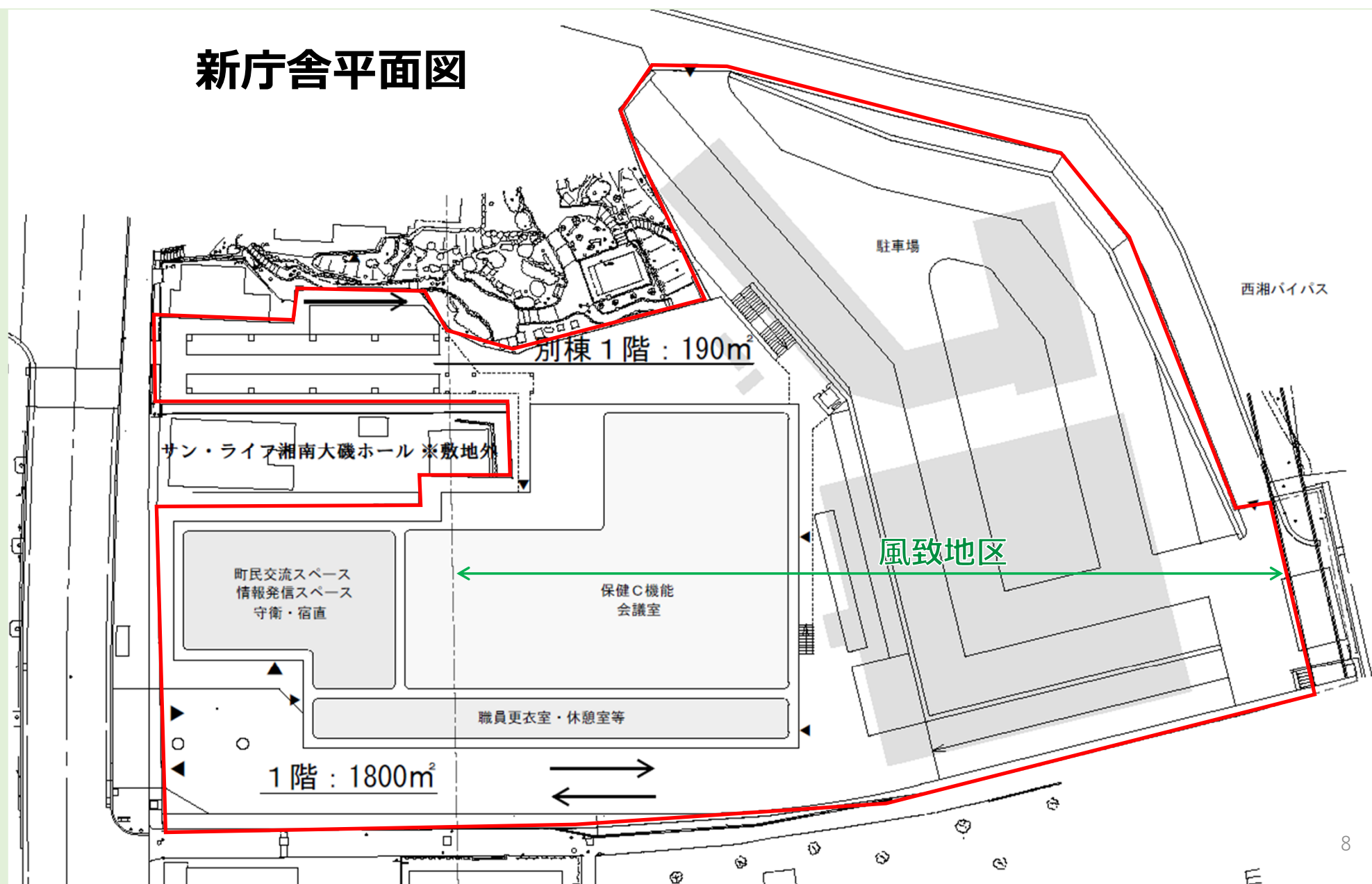


神戸市危機管理センター防災展示室HPより



交流スペース（東京都清瀬市）

新庁舎平面図



3 新庁舎整備の財源part1

地方交付税活用（返さなくて良い借金）



- ➡緊急防災・減災事業債（7年度までか？）
返済財源の70%が交付税で交付
- ➡防災対策事業債
返済財源の45%が交付税で交付
ただし、高台移転と同様の建物構造



重 要

高台移転と同様の建物構造とは？

- ① **地下室・防護壁**はダメ
- ② **建物 1 階は浸水しても大丈夫にする**
➡ **建物 1 階は会議室など**



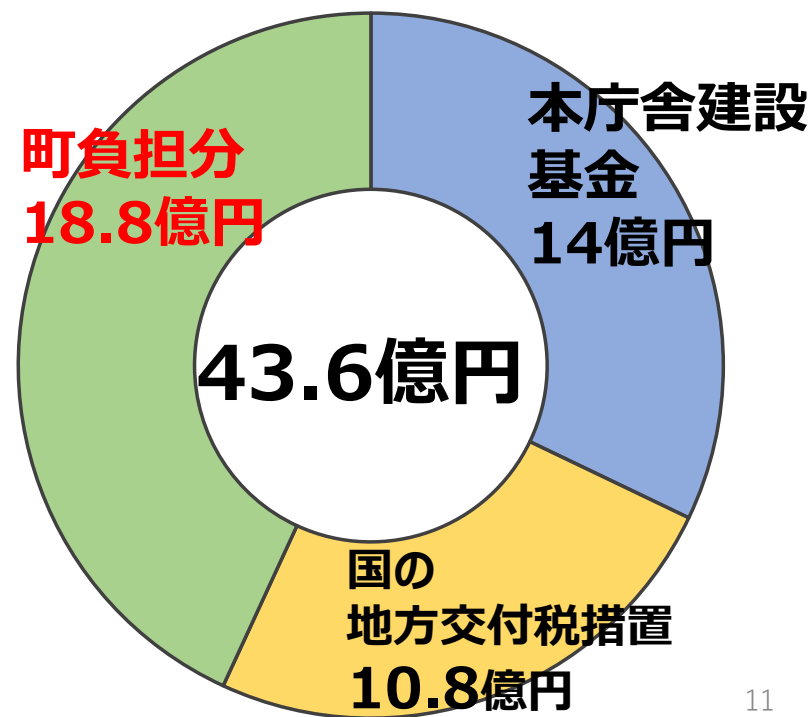
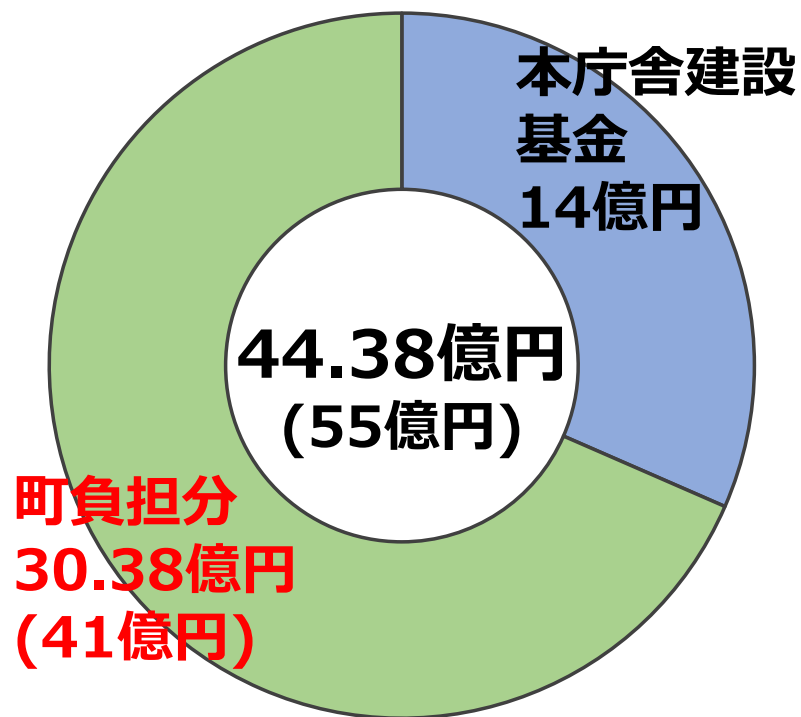
この考え方で基本計画を見直した



基本計画



変更後



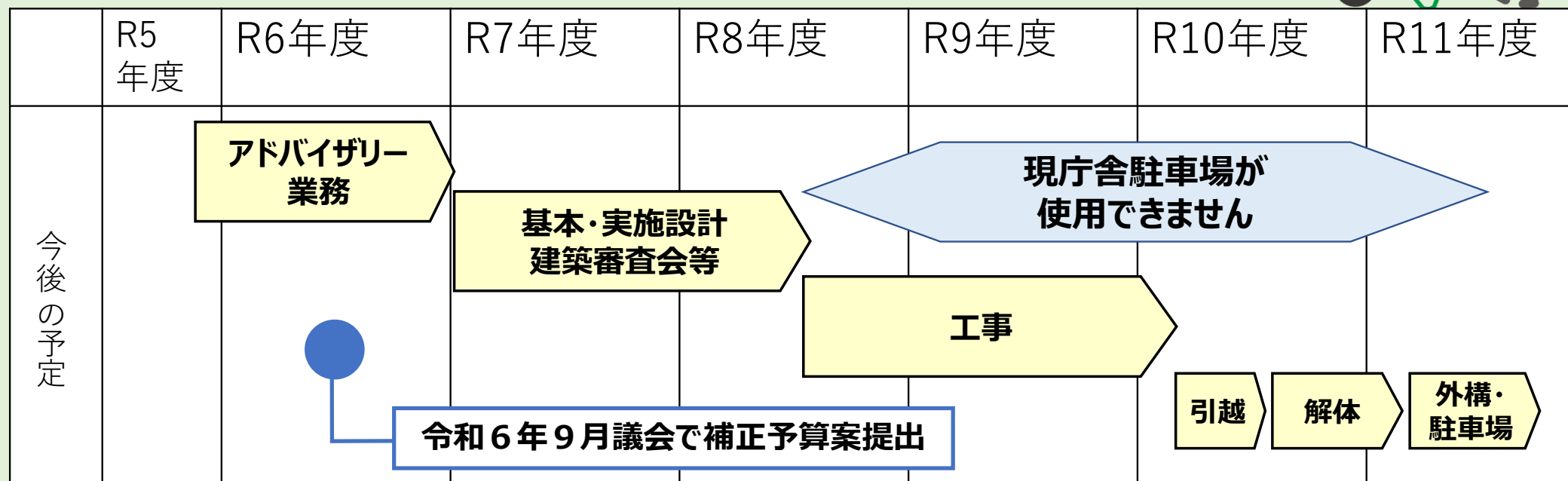
3 新庁舎整備の財源part2

最大で**18.8億円**の町負担分は
どうする？



- 平準化：**
- ① 返済期間30年程度の**借入れ**を行い、
毎年の政策経費への影響を最小限に
留める。
 - ② **基金の活用**を検討する

4 新庁舎整備のスケジュール



令和7年4月に**設計に着手**
 令和10年5月に**新庁舎完成**
 令和12年1月に**全体事業完了**

